

# STYLING

## MONO

1891年に製品化された  
スイス・ソルジャーナイフ。  
現存するすべてのアーミーナイフの  
原点となったデザインは  
それまでの刃物の進化と同様に  
1000年単位で変わることはないだろう。  
それほど完成されたデザインだった。



## VOL.15 Victorinox Tools

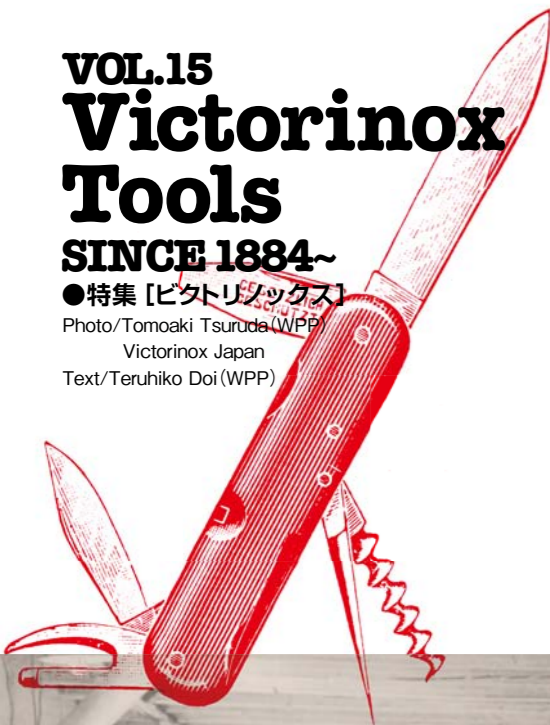
SINCE 1884~

●特集【ヒストリックス】

Photo/Tomoaki Tsuruda(WPP)

Victorinox Japan

Text/Teruhiko Doi(WPP)



人類が最初に手にした道具は  
おそらくナイフである。

石の切片が割れた動物の骨で切ったり  
裂いたりすることが容易になって、

初めて道具を使うことを覚えたのである。

それはまさに覚醒だったに違いない。

以降、ナイフはずっとブレード(刃)と

ハンドル(持ち手)というスタイルで

発展を続けていった。

包丁にしろ剣にしろ、形やデザインは

用途によってさまざまなものが生まれたが

ブレードとハンドルという基本形は

何千年もそのままであった。

ところが1891年、カール・エルズナー

というスイス人が自国の軍隊のために

開発したソルジャーナイフは

ハンドルに刃物以外の機能も盛り込んだ

高い機能性と携帯性に長けた多徳ナイフであった。

有史以前から続いていたナイフのデザインが

一つ上の次元へと飛躍した瞬間である。



# STYLING

## MONO

1891年にスイス軍に納入された  
ソルジャーナイフ。  
1897年にはそのソルジャーナイフを  
基本形にした市販タイプの  
スイス・アーミーナイフ  
「オフィサー&スポーツナイフ」が  
特許を取得した。



旅に携行するアイテムの中で  
欠かせないのがビクトリノックス  
の「トラベラー」だ。カバン  
やトランクの中にそっと忍ばせ  
ておくと、本当に役に立つツ  
ールとなる。たとえば堅い包装の  
パッケージを開封するのに小さ  
な刃物は役に立つし、ネジが外  
れた旅行カバンや携行用品の修理  
にドライバー部分が役に立つ。  
意外に多いのが海外のスーパー  
で買ったビンのビールやドリ  
ンクが、いまだに栓抜きを必要と  
するタイプである場合。そんな  
とき、トラベラーのせん抜きは  
は本当に有り難味を実感する。  
ビクトリノックスに内蔵される  
ツールの中で、発売以来ずっと  
評価が高いのがハサミ。この小  
さなハサミは利き手を選ばず機  
能する。試しにこのハサミで爪  
を切ってみるといい。右利きで  
も左利きでも関係なく快適な切  
れ味を実感できるはずだ。他に  
もベルトの穴を調整するのに便  
利なリーマーや、いろんなもの  
を引っ掛けるマルチフック、大  
小のマイナスドライバーにピン  
セットやツースピックなど、多  
種多様な機能がこの小さなボテ  
イに集約されている。キーリン  
グのホルダーに加えて日常的に  
装備しておく、オフィスなど  
のデスクまわりでも意外に機能  
する場面が多かったりする。  
同社のマルチツールナイフには  
他にも多くのタイプが用意され  
ているが、バランス的にはこの  
トラベラーの評価が高い。

## ナイフに“切る”以外の機能が もたらされた日



【ビクトリノックス・トラベラーに内蔵される機能】上段左から：ラージブレード、キーリングとスモールブレード、機能的評価の高いハサミ、せん抜き（先端はマイナスドライバー、根元にはワイヤーストリッパー。このワイヤーストリッパーはちょっとした金属部や針金を曲げるのにも役に立つ）、カン切り（先端は小径のマイナスドライバー）。下段左から：コルクせん抜き、マルチフック（開けにくいブルリングやタブ、自転車チェーンの調整など意外に用途が多い。利き手の人差し指の延長線上にあるツールである）、穴開けに便利なリーマー（穴が開いているので帆布などを修理する際の糸通しにもなる）、毛抜きや刺抜きに便利なピンセット、ツースピック。一応、スペックとして表示されている機能は15だが、使いこなせば自分だけの機能も発見できるはず。ハンドルの長さは91mm。



重量とサイズ、そして  
全体の機能バランスを  
考えたら、最も完成度が  
高いと編集部が考える  
『ビクトリノックス・トラ  
ベラー』。スタイリング  
の良さは本当に秀逸だ。

この美しいフォルムと  
完成された機能バランスが、  
19世紀に末には完成しており、  
しかも特許を取得していたとは、  
本当に驚きである。  
まさにスイスが生んだ名品。

# STYLING

## MONO

世界製品ともいえるビクトリノックスのスイス・アーミーナイフ。127年の歴史の中で印象的なのは北極探検隊、エベレスト登頂、アマゾンのジャングル、そしてスペースシャトルの船内など冒険の現場で必ず機能していたという点。



縦91×横26×厚さ33mm  
の中に収められた  
世界一コンパクトな  
道具箱

ビクトリノックスの創業は1884年。カール・エルズナーと彼の母親であるビクトリアが、スイスのシュビツ州イーバツハにワークショップを開設したのが始まりだ。カールは帽子職人の息子であったが、刃物産業が盛んだドイツとフランスでナイフ作りの技術を学び、スイスで工房を開いたのである。ゾーリンゲンに代表されるドイツの刃物工業と、ソムリエナイフなどを生み出したフランスの洗練された技術を吸収したカールは1891年にスイスで刃物のギルドを組織する。ドイツ、スイス、イタリア、オーストリアという大国に国境を面する小国

と併せて鑑みると、この国の工業製品における美的感覚が独自のものであることが判るだろう。第二次世界大戦が終了した1945年には、同社の「オリジナルスイス・アーミーナイフ」がヨーロッパ戦線から帰還するアメリカ軍によって持ち帰られ、そこから世界中へと広まっていく。単に切るための刃物ではなく、その時代のさまざまな生活用品やメカニズムに対応する機能を備えていたことが、世界的製品になる最大の理由であったはず。その後、軍用品の枠を超えた生活や趣味の道具箱として、さまざまなタイプが発売されたが、機能の進化は

止まらず、このページで紹介している「スイスチャンプ」には、何と33の機能が搭載されている。説明書も英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語、日本語、アラビア語、ロシア語と9ヶ国語で表記されており、まさに世界製品。2009年には創業125周年を迎えているが、人間が道具を使い続けている限り、ビクトリノックスは永遠に機能し続けるはずだ。

ビクトリノックス社は現在、刃物以外にもトラベル&ビジネス・ギア、時計事業、アパレル事業などを展開。総合ブランドとして躍進を遂げている。

ン潮流をみてみると、たとえば同社の創業当時はイギリスのアーランドクラフツ運動の終盤期にかかっており、フランスでは1900年のパリ博覧会でアーナルヌーヴォーが大きなムーブメントを生んでいた。ドイツのバウハウスは1919年の創立だが、そうしたヨーロッパ先進国のデザイン潮流のいずれにも大きな影響を受けていない独自の機能的デザインを、20世紀初頭には完全なスタイルとして完成していたのだ。無駄を排した極限の機能がスイスでは19世紀末には萌芽していたことは見逃せない事実である。精緻で職人気質な時計王国スイスの産業

と併せて鑑みると、この国の工業製品における美的感覚が独自のものであることが判るだろう。第二次世界大戦が終了した1945年には、同社の「オリジナルスイス・アーミーナイフ」がヨーロッパ戦線から帰還するアメリカ軍によって持ち帰られ、そこから世界中へと広まっていく。単に切るための刃物ではなく、その時代のさまざまな生活用品やメカニズムに対応する機能を備えていたことが、世界的製品になる最大の理由であったはず。その後、軍用品の枠を超えた生活や趣味の道具箱として、さまざまなタイプが発売されたが、機能の進化は

止まらず、このページで紹介している「スイスチャンプ」には、何と33の機能が搭載されている。説明書も英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語、日本語、アラビア語、ロシア語と9ヶ国語で表記されており、まさに世界製品。2009年には創業125周年を迎えているが、人間が道具を使い続けている限り、ビクトリノックスは永遠に機能し続けるはずだ。

ビクトリノックス社は現在、刃物以外にもトラベル&ビジネス・ギア、時計事業、アパレル事業などを展開。総合ブランドとして躍進を遂げている。



勤勉だった創業者一族の影響も大きい。やはりスイス人の妥協のない厳格なモノ作りの姿勢が品質を安定させていたのかもしれない。精緻さがすべての価値を上回るような時計産業がちゃんと根付くお国柄だからこそ世界に受け入れられる製品が発信できるのである。

世界で最も小さな道具箱と称される「スイスチャンプ」の機能は33種類。33本のツールを持って歩くことを考えれば、この製品の偉大さが判る。ルーベや魚のウロコ取り、爪やすりなどに時代の要請が反映されていることがよく見える。

←スイスチャンプならではの機能を一部紹介しよう。手前から拡大ルーベ、プラスドライバー、ワイヤーストリッパー付きプライヤー、金属もカットできるのこぎり。その他、マイナスドライバーの径も追加されてかなり使える道具箱となっている。



本体から切り離して使用する内蔵タイプのツールも豊富。ツースピック、ピンセットなどは他のモデルにも搭載されているがボールペンと眼鏡の緩みなどを修理する精密ドライバーはかなり使えるアイテムである。

# SWISS ARMY KNIFE



左:カールの母親  
ビクトリア・エルズナー  
右:ビクトリノックス創業者  
カール・エルズナー

## MONO

商品についての問合せ先  
@ビクトリノックス・ジャパン  
☎03-3796-0951  
<http://www.victorinox.co.jp/>



スイス・シュビッツ州イーバッハ  
にあるビクトリノックス本社。  
スイスらしい美しい山並みに囲まれた  
絶景の場所に立地している。

【スイスチャンプ】  
ツール数は33ファンクション。  
まさにビクトリノックスの  
フラッグシップモデル。  
バッファローや真珠母貝の  
ハンドルを持つスペシャルモデルも。  
価格 1万290円(写真の通常モデル)



【トラベラー】  
ツール数は15ファンクション。  
トラベルに必要な機能を  
満載した人気モデル。  
価格5040円



【ハントマン】  
最も代表的なオフィサーナイフの  
中の人気モデル。  
のこぎりを装備するキャンパーと  
トラベラーを合体させた。  
価格5775円



【スリスライト】  
何と白色LEDライトが内蔵された  
新時代のビクトリノックス。  
長寿命のLEDとハサミ、  
マイナスドライバーなど  
7つのファンクションを装備。  
価格3675円

